



「一画」藤「雪のじり」



「一画」藤「春のじり」



まんが館の魚タタワーとコラボ(イメージ)

酒井敦美 プロフィール



光の切り絵作家 愛知県出身・在住 独学で絵を描き続け、切り絵の手法で舞台美術等を手掛ける。近年は「光」を透して表現するオリジナル切り絵作品を、《光の切り絵》と名付け、制作と発表を続けている。光の切り絵には、一枚の切り絵が2場面に変化する《一画二驚》や、街路や自然の中に切り絵を投影する《野外幻灯》などがある。

酒井敦美

光の切り絵展

心の中へ

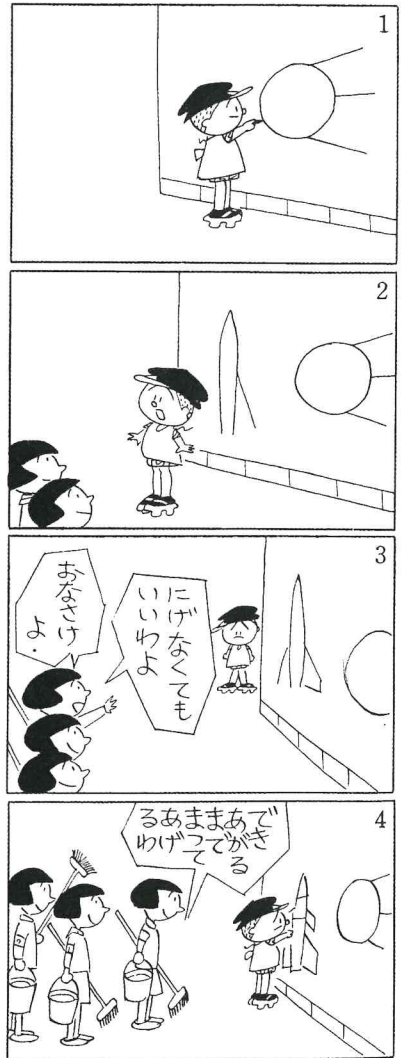
愛知県在住の光の切り絵作家 酒井敦美さんは、高知県との縁が非常に深い方です。旅好きの酒井さんが偶然出会った人たちと企画することになったのが、高知県佐川町の白壁の町並みに絵を投影するイベント「さかわ酒蔵ロード劇場」。これにより、OHPを使って切り絵を屋外で映し出す《野外幻灯》というジャンルを確立し、現在では全国各地でイベントを実施しています。

瞬間には桜舞う温かな春の風景に一転する作品「春よこい」。どうすればこれほど鮮やかに画面が変わるのか...こんな不思議な作品群が、酒井さんの、光の切り絵《一画二驚》シリーズです。この制作に欠かせないのが、極薄土佐和紙の典具帖紙です。作品の額内に仕込まれた照明の当て方によって絵をきれいに変化させるために最適な材料です。

立体展示物の作成には照喜名隆充さん(イラストレーター)のご協力をいただき、併せて、テレビドラマの楽曲提供などで活躍するサキタハヂメさんに、ミュージカルソ(のこぎり)で奏でるオリジナル曲を作ってもらいました。

子どもも大人も、みんなで光の絵の中に入って楽しいひと時を過ごしませんか？

フクちゃん 横山隆一 (1958年)



期間 ● 2019年1月26日(土) ~3月3日(日)
場所 ● 横山隆一記念まんが館企画展示室
時間 ● 9:00~18:00 (最終入館17:30)
休館日 ● 月曜日
観覧料 ● 一般 前売り500円(当日600円) 大学生・専門学校生 前売り300円(当日400円) 中・高校生 前売り250円(当日300円) 小学生 前売り150円(当日200円) ※小学生未満無料※本企画展をご覧の方は、常設展を200円で観覧できます(一般410円のところ)
主催 ● 公益財団法人高知市文化振興事業団 横山隆一記念まんが館 KUTVテレビ高知

2018 高知のまんがあれこれ展 & 高知のまんが道場30年記念展



2年ぶりの開催で、会場の雰囲気も華やかに?

昨年お休みした「高知のまんがあれこれ展」と高知のまんが文化を代表する「高知のまんが道場30年記念展」の2つを同時開催。

第1部の高知のまんがの“今”を語る「あれこれ展」では、お休みした2年分がギュッと詰まった展示になりました。夏の風物詩「まんが甲子園」は第26回と高知県勢が大活躍した今年・第27回の入選作品を一挙に展示。今年記念すべき第30回を迎えた「黒潮まんが大賞」も昨年の第29回とあわせて2回分の入選作品をご紹介します。今年は昨年審査に参加した村岡マサヒロさんとおなじみ西原理恵子さんの特別賞も設けられました。また、地元の“まんが家になりたいキミ”を応援する「高知インディーズマガジン」の作家さんたちの4号分の貴重な生原稿もご覧頂きました。今回の展示の目玉は、10月まで『週刊少年チャンピオン』で連載されていた森田将文さんの「出陣★昆虫将軍チョウソカベ!」の下絵原画と完成原稿!直筆の下絵とデジタル処理された完成原稿を並べて見られる貴重な機会となりました。

第2部、高知のまんが文化の一端を担う「高知のまんが道場」の30年記念展では、高知のまんが道場のあゆみと社会の移り変わりを年表と紙面で紹介。道場を30年にわたって支えてきた投稿者たちの貴重な原画を「こどものちから」「時代をうつす」「日常のすがた」のテーマ毎に紹介。また「高知漫画集団」「高知漫画グループくじらの会」「タマリ」といった「高知のまんが道場」の歴史を語る上では必ずせない常連さんたちの作品を紹介しました。会場内には特別企画として村岡マサヒロさんが描いた4コマまんがの4コマ目を仕上げ



大爆笑からほんわかまで、渾身の4コマ目がずらり

限定缶バッジをもらう「村岡マサヒロの4コマ目を考えよう!」投稿作品や10月14日に行われた「くさか里樹の“みんな、まんがを描いてみる?”」の作品も展示され、高知のまんがの“今”と“歴史”を一度にご覧いただける展示となりました。



下絵原画と完成原稿を並べて見られる贅沢!©森田将文/秋田書店

関連イベント

くさか里樹の “みんな、まんがを描いてみる?”

講師 ●くさか里樹
開催日 ●10月14日(日) 対象 ●小中学生
場所 ●まんが館まんがライブラリー2

まんが家で高知のまんが道場2代目道場主のくさか里樹さんが4コマまんがの描き方をレクチャー。「どこで」「だれが」「いつ」「なにをした」のゲームから新しい発想法や、絵を描く時のちょっとしたコツを楽しく教わりました。



ペンののったら無我夢中!

開催日 ●2018年10月13日(土)~11月25日(日)
場所 ●まんが館企画展示室
主催 ●公益財団法人高知市文化振興事業団 横山隆一記念まんが館 高知新聞社

まんさい各コンテストの入賞者

(敬称略 ※掲載名は全てペンネームです。)

まんがで遊ぼう!

- | 4コマ目にチャレンジ | | 4コマまんがをかこう | |
|------------|---------|------------|---------|
| 村岡大賞 | 正木大賞 | 村岡大賞 | 正木大賞 |
| 村岡賞 | 正木賞 | 村岡賞 | 正木賞 |
| シロー(高知市) | りり(高知市) | まほ(高知市) | よし(高知市) |
| 正木(高知市) | あや(高知市) | まか(高知市) | ゆり(高知市) |
| 欲(高知市) | よ(高知市) | ま(高知市) | 音(高知市) |
| | ま(高知市) | ま(高知市) | よ(高知市) |
| | ま(高知市) | ま(高知市) | よ(高知市) |



じもきやら達が競演

2日目の声優トークショーは、2度目のまんさい登場となった緑川光さん。来場者から好きなセリフのクエストを受ける大サービスを披露。人気イベントの「じもきやらステーション」は、今年は撮影が可能になりました。豪華景品を賭けた真剣バトルが繰り広げられた「ふきだして吹き出しせ!」は瞬時のアイデアが勝敗を決めました。

その他毎年人気の「村岡マサヒロすみっこであいまじょう」や「まんがで遊ぼう!」といった大人から子どもまで楽しめるイベントや、緑川光さん、森田将文さんが出演し、ラジオの公開収録を行った「NHKブース」、「小学館コロコロまんさいスペシャルブース」など無料で参加できるイベントも開催され、まんがとアニメを満喫できる2日間になりました。

こうちまんが フェスティバル 2018

今年で16回目を迎えたまんがイベント「まんさい」こうちまんがフェスティバル2018が汗にじむ暖かきの11月3日、4日の2日間、かるぽーとを中心に開催され、延べ30,000人を超える参加者で賑わいました。



子供たちで賑わうブース



まんがを描いて楽しんでいる会場



作品の解説をする正木秀尚さん、雪本愁二さん、森田将文さん

開催期間 ●11月3日(土) 迄、4日(日)
開催場所 ●高知市文化プラザかるぽーとほか

4コマまんが創作の楽しさと高知からのまんが文化の発信を掲げ、高知市と横山隆一記念まんが館が全国から公募した「まんがの日記念・4コマまんが大賞」。第14回となる今回は、42都道府県から一般部門384人574点、ジュニア部門340人385点、計724人959点の作品が寄せられました。

くさか里樹さんと矢野徳さんによる審査の結果、フクちゃん大賞には、一般部門では熊本県の大学教員、喜久山悟さんの「ロボ・ロボ介護」が、ジュニア部門では高知市立義務教育学校土佐山学舎6年の亀山楓生さんによる「ぶどうジュースだ!」が選ばれました。

学校賞は東京都・江戸川区立二之江第三小学校と高知市立義務教育学校土佐山学舎の2校が選ばれました。

表彰式は、11月3日「まんさいーこうちまんがフェスティバル2018」のステージイベントとして行われ、ジュニア部門大賞受賞の亀山さんはじめ7名の受賞者、学校賞受賞関係者など計8名が列席して盛大に行われました。

2019年1月14日まで開催中の「第14回4コマまんが大賞作品展」では、入選作品と高知県から出品された作品を展示しています。

★一般の部

フクちゃん大賞 「ロボロボ介護」喜久山悟(熊本県)



やなせ兎賞 「星の数だけすきでいて」岡村紅児(和歌山県)



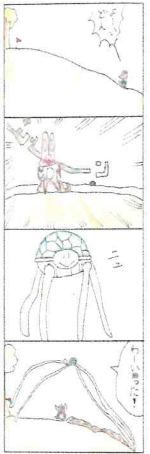
「高知市長賞」は、応募規定に抵触する事項が判明した為、取消となりました。

★ジュニアの部

フクちゃん大賞 「ぶどうジュースだ!」亀山楓生(高知県)



高知市長賞 「新うさぎとかめ」蟹井綾斗(高知県)



やなせ兎賞 「宿題」杉本純白(高知県)



よさこい賞



「先見の明」種田英幸(高知県)



「忘れたの?」木南精一(長野県)



よさこい賞



「〇〇ハ」福岡紀子(愛媛県)



「しゅつ学旅行につれて」川崎葵衣(高知県)



(敬称略)

学校賞

江戸川区立二之江第三小学校(東京都)

高知市立義務教育学校土佐山学舎(高知県)



高知新聞報道部

松田さやか

まんがと私



小学時代の「りぼん」体験

今や国民的まんがになった「ちびまる子ちゃん」。小中学生の頃、少女まんが誌「りぼん」を愛読していた私にとって、作者のさくらももこさんの急逝は2018年最大のショックな出来事の一つでした。これを機に「ミックス全巻を引っ張り出し、まる子と同じ年の小3の娘と読み返したことでした。

1980〜90年代の「りぼん」と言えば……。2500万部ピーク時の発行部数。すごい時代でした(乙女のバイブルと呼ばれた枝あおい「星の瞳のシルエット」、池野恋「ときめきトゥナイト」など多数の人気連載がありました。私ほどどうかというギャグ路線の作品が好みでした。

「まる子」も大好きでしたが、少女まんが界の「ドクダミの花」、岡田あーみんさんの作品も衝撃的でした。娘の典子とイケメンの彼氏・北野君との恋愛をストーリーばかりに邪魔するパピイ(父親)の日常を描いた「お父さんは心配性」に、「こいつら100%伝説」、「ルナティック雑伎団」。なぜ乙女向け雑誌に載っているのか不可解に思えるアナキーさど変態ごぶり、不条理ギャグが満載で、毎回ちよつとした背徳感を味わいながら部屋の隅っこで読んでいました。

当時、さくらさんとあーみんさんの間には交流があったようで、まるちゃんとパピイと一緒に登場する合作も残っています。さくらさんの計報に触れ、「あーみんはどう思っているのだろう...」とふと思ひ、「あーみん 現在」でネット検索したりもしましたが、既に引退し、確たる消息はつかめず。作風は違いましたが、同調圧力が強く、狭い人間関係でもがいていた学校生活を送る中で、二人のギャグまんがにどれほど救われたか...。まさに私にとってのバイブル。お二人がまんが界にいる間にインタビューをしてみたかった、というのが叶わぬ夢です。

行事案内 INFORMATION

第14回まんがの日記念 4コマまんが大賞作品展

「4コマまんが大賞」応募作品959点の中から選ばれた、入賞作品11点をはじめ入選作品および県内からの応募作品などを展示紹介します。

おしくも受賞を逃した作品の中から来場者が審査員となり投票する「ギャラリー賞」を今年も設置。審査員といういつもと違った視点から作品をご鑑賞いただけます。

まんがの魅力を凝縮した、4コマまんがの世界をぜひお楽しみください。

期間 ● 2018年12月8日(土) ~ 2019年1月14日(月・祝)
 場所 ● 横山隆一記念まんが館企画展示室
 時間 ● 9:00~18:00
 休館日 ● 毎週月曜日(1月14日を除く) 12月28日~1月4日
 観覧料 ● 無料
 主催 ● 高知市、高知市教育委員会 公益財団法人高知市文化振興事業団 横山隆一記念まんが館

行事案内 INFORMATION

2018冬のまんが体験イベント まんがで遊ぼう!クリスマスイブ

冬恒例のまんが体験イベント「まんがで遊ぼう!クリスマスイブ」をクリスマス直前の12月23日(日・祝)に開催します!!

毎年ご好評をいただいている「カレンダー」「クリスマスカード」「缶バッジ」「ミニクリスマスツリー」が登場。クリスマスカードにどんなメッセージを書こう? ツリーは誰にプレゼントしようかな? 好きなものを4コマで作れるので、存分に楽しめます。

「まんがクリスマスツリー」もまんが館入り口に登場。皆さんのまんがでツリーを飾ってね!!

「まんがで遊ぼう!クリスマス」

日時 ● 2018年12月23日(日・祝)
 場所 ● まんが館まんがライブラリー2
 時間 ● 10:00~16:00
 参加 ● 無料
 ただし「第14回まんがの日記念・4コマまんが大賞作品展」でギャラリー賞への投票が必要
 主催 ● 高知市文化振興事業団 横山隆一記念まんが館

行事報告 REPORT

『高知インディーズマガジン』第12回表紙イラストコンテスト展

高知発。描きたい君とつながるマガジン「高知インディーズマガジン」の、表紙イラストコンテストが今年も実施されました。年に1度、公募と一般投票により表紙絵を決定するこのコンテストの今年のテーマは「Sweet」。テーマを元に国内外から応募された全8作品を展示する表紙イラストコンテスト展を開催。来場者による一般投票の結果、西川リナさんの作品が最多得票を獲得し、第24号の表紙絵に決定しました。最新の「高知インディーズマガジン」第24号は、かるぼーとミュージアムショップほかでご購入いただけます。



『高知インディーズマガジン』第24号(表紙イラスト:西川リナ)

開催日 ● 2018年9月8日(土)~9月17日(月・祝)
 場所 ● まんが館まんがライブラリー2

高知まんが家 第2回高知漫画集団と仲間たち展開催!

「第2回高知漫画集団と仲間たち展」高知漫画集団結成40周年記念が9月22日(土)から30日(日)まで、京町商店街・高知市学生生活動交流館で開催されました。おかもとあつしさん、川のひろしさん、920さん、クメヒロオさん、さかもと清敏さん、種田英幸さん、ちさとさん、中条建雄さん、早川智彦さん、山北三砂子さんといった高知漫画集団のメンバーと、くさか里樹さんやスチュワート・ロナルド・ジェフリーさんをはじめとする仲間たちの作品が展示されました。まず会場へ出迎えてくれたのは、ニードルフェルトで作られた猫たち。まんがだけでなく、写真や紙粘土でできた造形なども展示され、まんがを描くことから生まれた着想が、メンバーのいろいろなかたちの表現へ派生していく様が、観ていて大変興味深いものでした。まんがの面白さはもちろんのこと、それぞれの個性が作品に表れていて、考えさせられるもの、笑わされるものとたくさんアイディアが溢れています。



会期中は希望者には、受付担当作家が似顔絵を描いてプレゼント。話をしながらゆったりと時間が過ぎていくのしい空間でした。

館のご案内

開館時間 9:00~18:00
 休館日 毎週月曜日(祝日・振替休日の場合は開館) 年末年始(12月28日~1月4日)
 常設展示観覧料 一般410円
 団体(20名以上) 320円・65歳以上200円・高校生以下無料
 身体障害者手帖(1、2級)・療育手帳及び精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方とその介護者(1名)は200円
 お問い合わせ先 〒780-8529 高知市九反田2-1 高知市文化プラザかるぼーと内 横山隆一記念まんが館
 TEL: 088-883-5029
 FAX: 088-883-5049
 URL: <http://www.kfca.jp/mangan/>
 E-mail: mangan@kfca.jp



横山隆一記念まんが館へは、高知市文化プラザかるぼーと3階入り口よりご入場ください。

新着図書(2018年10月)

『ゴールデンカムイ』11~14巻 野田サトル
 『BLUE GIANT SUPREME』1~5巻 石塚真一
 『あずまんが大王』1~4巻 あずまきよこ
 『トリマニア』1~4巻 久世岳
 『はたらく細胞』1~5巻 清水茜
 『天才少年の生活』ベスト盤 The Green Side The Orange Side 山下和夫
 『夜郎戯暦』安宿夜郎
 『大家さんと僕』矢部太郎
 『ヘルプマン!! 取材記』1巻 くさか里樹
 『戦前日本SF映画創世記 コジラは何でできているか』高城真樹
 『トモちゃんと魔法のおかし』小笠原まき
 『まんが少年、空を飛ぶ』山崎祐則/稲泉連
 『昭和さんぽ』1964年/1970年 松澤良信
 続刊『ONE PIECE』90巻
 『サムライせんせい』5巻
 『深夜食堂』20巻
 『よつぱと!!』14巻など
 その他たくさん入っています。

フク話内

◆「志国高知 幕末維新博」特別企画として、「高知 光のフェスタ2018」が高知県内各地で開催され、あちこちできれいな光景が見られるようです。期せずして、まんが館でも光の展示会を開催します。2016年の野外幻灯イベントで披露した酒井敦美さんのフクちゃんが登場するプロジェクションも、室内用にリメイクされて登場予定。今回は室内なので、天気心配がなくて助かります!(種)

